

令和6年度 第4回 糸満市地域公共交通協議会 議事録

【開催日時】:令和 6 年 11 月 29 日 (金) 15:00～17:00

【開催場所】:糸満市役所 3-c 会議室

【出席者】:21 名 (別紙 1 糸満市地域公共交通協議会委員名簿)

1. 報告事項

(1) 糸満市地域公共交通計画の策定に向けた作業状況について

【大城会長】ただいまの説明について、意見や質問はあるか。異議なしでよろしいか。

【委員一同】異議なし。

2. 協議事項

(1) 糸満市地域公共交通計画（案）について

■通学流動の変化について

【小川委員】12頁の通学流動について減少しているとの説明であったが、具体的にどのような理由でどこが減っているのか。県の通学費補助制度から考えると全県的に学生のバス利用者は増えていると思うが、糸満市においては少子化や送迎通学の影響が理由であるのか。

【事務局】前計画時に使用したH22 国勢調査との比較において減少しているという表現となっている。このデータは移動手段を問わないもので、全体的に糸満市から市外への通学流動が減少している。詳細として移動手段別の割合を次頁に掲載しており、乗合バス利用者の割合も同様に減少している。なお、糸満市が公表している年少人口は前計画策定時から1000人程度減少している。

■市内地区間移動について

【小川委員】15頁の市内区間移動はどのようなデータを用いて分析しているのか。バス事業者として縦方向の移動は理解できるが、横方向の移動は実感としてない。

【事務局】この分析において、Agoop というビックデータを使用しており、バスのみならず自動車を含むすべての移動手段が収集されており、横方向の移動も反映されている。特に「高嶺⇄糸満」など、図式化するために横矢印のようにになっているが、実際の地区は広範囲にわたり、縦方向の移動も含まれている。

■結節が悪いという表現について

【小川委員】39頁「都市間連携の問題点」として国道331号において他路線との結節が十分でないという表現があるがどのような交通モードの結節を言っているのか。「バス/バス」「バス/いとかん mini」「バス/その他の交通モード」など、どのような結節を指しているのか明確でなければ生産的でない。

【亀谷委員】小川委員の指摘通り、結節の対象を明確にする必要がある。結節という観点では、路線バス同士に限定せず、他のモードも含めた表現がより適切だと考えられる。また、市外と繋ぐ結節なのか、市内間を繋ぐのか、結節点の規模に応じて示すべき交通モードが変わると思われるため、実態に即して明確にしてほしい。

【事務局】対象を明確にし、文言を修正する。

■供給側の制約について

【小川委員】現在、バス・タクシー等の公共交通事業者が抱える大きな問題は「人手不足」であり、労働時間の法改正などにより制約が増え、その問題は深刻化している。しかし、「1-3 公共交通の役割と課題（2）公共交通に求められる役割に対する問題点と課題」の各節では、この供給側の制約について言及されていない。言及すべきではないか。

【事務局】公共交通事業者の現状については前段の「1-2 公共交通を取り巻く現状（3）公共交通の現状」において言及しており、念頭に置いている。

■シームレスな移動について

【小川委員】シームレスな移動について、アンケート結果にはその問題点が浮かび上がっていない。OKICA 活用などのシームレスな移動の観点が必要では。

【事務局】この後の章における具体的施策内容の中で取り入れていきたいと考える。次回の協議会で内容について議論頂きたい。

■「共創」について

【亀谷委員】37 頁にて関連計画から公共交通に求められる機能・役割を抽出しているが、国土交通省などでは交通分野だけでは支えきれないという認識のもと、福祉や教育、産業など他分野のリソースを活用し、分野を超えた連携、つまり「共創」を進めていこうとしている。そのようなニュアンスを取り入れてほしい。また、小川委員から供給側の制約について言及があったように、持続可能な維持のためにも「共創」を取り入れて頂きたい。

【事務局】ご指摘を踏まえて、内容を検討する。

■グラフラベルについて

【亀谷委員】41 頁の送迎負担感についてのグラフラベルにて、文言の誤りであると思うが、負担であるというラベルが2つある。事実関係を確認し修正してもらいたい。

【事務局】確認し、修正する。

■課題の具体性について

【亀谷委員】54 頁で示された公共交通の課題は、基本的に網羅されているが、やや抽象的に感じる部分もある。57 頁の将来ネットワーク図の説明では拠点とネットワークの役割などについて口頭で説明されていた。そのような視点から、ネットワークの課題を整理し、誰が何をどのように行うかを明確にすることで、課題感がより具体的に伝わると考えられる。

【事務局】頂いたご意見を踏まえ、ネットワークの課題や取組の主体については、この後の章で網羅し、次回の協議会で議論していただきたい。

■将来ネットワーク図について

【大城会長】57 頁の将来ネットワーク図において、市外との結節点は新交通ターミナルである一方、市内移動について、拠点集落からの移動も新交通ターミナルに繋がる形になるのか、それとも市内移動の中核となるものが他にあるのか。具体的に想定されるものがあれば、ネットワーク図に明記するなどで表現すべきだと思われる。

【事務局】拠点集落内の集落中心となるバス停をつなぐ形で、完全ではないが現在南部循環線が走っている。この循環線は、当然新交通ターミナルを通過し、全体を結ぶ形となるイメージである。

3. その他

（１）次回協議会に向けた検討作業の方向性について

■計画における価値の表現について

【島田副会長】計画の後押しとなるように、この計画を策定することによってどのような価値が生まれるかぜひ表現してほしい。例えば、高齢者の外出圏が広がることによる医療費の削減や経済効果、生きがいの創出など。

【亀谷委員】島田副会長が言及された内容は、主にクロスセクター効果に関連するものと考えられる。さまざまな分野の数値を用いるため難しい部分もあると思うが、定量的なものでなくとも定性的側面でも良いと思われる。その際には、計画期間にすべての事業についてしっかり確認するという点を明記することが求められる。実施効果としていろいろと挙げられているが、KPI（目標値）の設定が重要である。次回の協議会では、施策効果や目標値を達成するために必要なインプット、アウトプット、アウトカムを適切に示すことにより、議論がより実質的になることが期待される。

■観光との連動について

【島田副会長】この計画が市の観光にどれだけ貢献するかを表現したい。県が持つ観光税の財源について、市としてもその使途に関して議論が必要になるだろう。道の駅との結節など、市の観光振興計画と連携させて進めてほしい。

■市民意識について

【島田副会長】計画推進において、実社会に影響をもたらすには市民の意識が重要である。ぜひ本計画内で市民の意識醸成に関する内容にも言及してほしい。



写真：会議開催状況

■令和6年度第4回糸満市地域公共交通協議会委員名簿

別紙－1

	氏名		区分	所属	役職
1	会長	大城 郁寛	学識経験者	琉球大学	名誉教授
2	副会長	島田 勝也	学識経験者	沖縄大学地域研究所	特別研究員
3		小川 吾吉	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	株式会社琉球バス交通	代表取締役
4		鹿毛 建造	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	那覇バス株式会社	取締役副社長
5		名嘉山 敬雄	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	沖縄バス株式会社運輸部	業務課長
6		山下 政文	一般乗用旅客自動車運送事業者及びその団体	糸満タクシー株式会社	運行管理者
7		慶田 佳春	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	一般社団法人沖縄県バス協会	専務理事
8		仲里 隆	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	有限会社美ら島	取締役会長
9	代理出席	佐藤 智彦	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	東京バス株式会社	常務取締役
10		喜屋武 悟	一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	私鉄沖縄県労働組合連合会	執行委員長
11		国吉 真昭	地域代表者	真栄里自治会	会長
12		照屋 好範	地域代表者	真壁自治会	会長
13		徳元 勲	団体代表者	糸満市老人クラブ連合会	会長
14		伊敷 郁子	団体代表者	糸満市女性連合会	会長
15	会長委任	又吉 琢巳	団体代表者	糸満市 PTA 連合会	役員
16		久保田 徹	産業界代表者	糸満市観光協会	会長
17		上原 長榮	産業界代表者	糸満市商工会	会長
18		亀谷 匡哉	運輸局	沖縄総合事務局運輸部企画室	室長
19		崎濱 秀治	運輸局	沖縄総合事務局運輸部陸上交通課	課長

20		森山 正三	道路管理者	沖縄総合事務局南 部国道事務所	副所長
21		比嘉 俊佳	都道府県警察	沖縄県糸満警察署 交通課	課長
22	会長 委任	平良 秀春	地方公共団体	沖縄県企画部交通 政策課	課長
23	不在		地方公共団体	糸満市	副市長
24		上原 斉	地方公共団体・道路管理者	糸満市建設部	部長
25		山内 昌直	地方公共団体	糸満市市民健康部	部長
26	会長 委任	国吉 丘	地方公共団体	糸満市企画部	部長

事務局		
1	新垣 行則	糸満市市民健康部 市民生活環境課 参事兼課長
2	大仲 良史	糸満市市民健康部 市民生活環境課 主幹兼係長
3	上原 理斗	糸満市市民健康部 市民生活環境課 主事
4	上間 淳也	沖縄しまたて協会
5	豊里 博輝	沖縄しまたて協会
6	又吉 杏美	沖縄しまたて協会
	計 6 名	